

令和 元 年度

三沢市教育委員会
会 議 録

5月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和元年度 5月定例会

1 日 時 令和元年5月22日(水) 9時55分 開会
10時45分 閉会

2 場 所 三沢市役所 本館4階 第2会議室

3 出席委員

教 育 長	富 田 敦
委 員	立 花 肇
委 員	相 沢 靖 恵
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	本 江 宏

4 出席職員

教育部長	山 崎 徹
教育総務課 課長	高 橋 徳 孝
教育総務課 副参事兼課長補佐	種 市 明 人
学務課 課長	附 田 経 行
学務課 副参事兼課長補佐兼学務係長	川 井 克 子
学校教育課 課長	米内山 誠 毅
学校教育課 課長補佐	桐 原 賢 哉
学校教育課 課長補佐	江 渡 勇
生涯学習課 参事兼課長	小 泉 厚 子
学校給食センター 所長	小 島 一 人
学校給食センター 所長補佐兼管理係長	山 本 智
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	今 村 多美代
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和元年度 5月定例会 議事日程

第1 開会

第2 会議録署名委員の指名

第3 会期の決定

第4 前回会議録の承認

第5 議事案件

議案第1号 県費負担教職員の交通事故・違反について

第6 報告案件

報告第2号 令和2年度三沢市重点事業要望について（教育関係）

第7 その他

第8 閉会

開会 9時55分

○日程第1 開会

■富田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、令和元年度5月定例教育委員会を開会いたします。

お手元に配付してある議事日程により、会議を進めていきます。

○日程第2 会議録署名委員の指名

■富田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、黒沢委員と本江委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○日程第3 会期の決定

■富田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日22日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第4 前回会議録の承認

■富田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しております。お手元の会議録のとおり承認してよろしいで

しょうか。

(「はい。」と声あり)

ご異議がありませんので、承認といたします。

○日程第5 議事案件

■富田教育長

それでは、議事案件に移ります。

議案第1号 県費負担教職員の交通事故・違反についての議案であります。本件は人事案件でありますので先例により非公開として別室審議といたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

○日程第6 報告案件

■富田教育長

続いて、報告案件に移ります。報告第2号 令和2年度三沢市重点事業要望についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

■教育部長

報告第2号 令和2年度三沢市重点事業要望につきましては、5月17日に開催されました三沢市行政経営会議で決定いたしました。

6月になりましたら、市選出県議会議員と市議会正副議長に対する説明、その後、日を改めまして、市議会全員説明会を行い、7月29日に市長が県庁を訪問して、直接、知事に要望する予定となっております。

それでは要望内容につきまして、学校教育課長から説明させていただきます。

■学校教育課長

それでは、重点要望事項の「(仮称) 県立イングリッシュ・ラーニングセンターの設置について」説明させていただきます。

まず、これまでの経緯についてです。資料3枚目の重点事業要望事項の進捗状況調をご覧ください。

これまでの経緯ですが、平成13年度から「県立高等教育機関の設置」について、要望して参りました。また、平成24年度からは「(仮称) 青森県総合英語研修センター」を加え、継続的に要望してきたところですが、県では「語学能力や国際性を身につけた人材育成の重要性は認めるものの新たな県立高等教育機関の設置については極めて厳しい」との回答でありました。

そこで、平成29年度からは青森県における英語教育拠点施設「総合英語研修センター」を、平成29年3月に改訂された学習指導要領の主旨に沿って、さらに一歩進め、「イングリッシュ・ラーニングセンター」として要望してきたところです。

これに対して県からは、「宿泊施設や教育環境の整った県総合学校教育センターを有効かつ積極的に活用していく方針であることから、極めて厳しい状況にある」という回答を得ているところです。

しかしながら、続いて2枚目の表、現状と課題の1つ目の○のところにあるように、国では、英語の基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力など「使える英語の学び」の育成を重視しているところであります。

また、3つ目の○にあるように、本県英語教育施策の方向性として、県では、県内小・中・高英語担当教員の英語力・指導力の向上に向けた支援員の継続、英語力向上検証プログラムの普及、4技能テストの積極的な実施

の働きかけ等の施策を行う予定となっており、県内実践型研修の拠点を目指した「(仮称) 県立イングリッシュ・ラーニングセンター」の設置が必要であると考えられます。

また、三沢市では、これまで地域在住のネイティブな人材を活用した「英語教育実践プログラム」を作成・実施、成果を上げており、県内実践型研修の拠点として最適であると考えられます。

裏側、1番上の「具体的内容」というところをご覧ください。

重点要望の具体的内容は、①から③のところに挙げた3つとなっております。

- ① 児童生徒や教員の研修を行うための施設『(仮称) 県立イングリッシュ・ラーニングセンター』の設置。
- ② 事業展開するための県担当者（指導主事）を配置。
- ③ 三沢市委嘱外国人の「英語指導助手」や「国際理解教育プログラム推進事業講師」と県担当者（指導主事）が連携した事業の推進。

以上でございます。

■富田教育長

ただいまの報告に対しまして、委員の皆様からご意見・確認等ございますでしょうか。

説明に使いました資料等で確認できると思いますが、内容は、多少修正・変更を加えながら、長年継続して要望してきています。1年や2年のお願いでは、限られた予算の中で県内全ての市町村の項目を賄っていくわけにはいきませんので、長年、実現可能な形にして要望していますが、今回もこのような形で、県へ要望していくということよろしいでしょうか。

■本江委員

要望の②のところの県担当者の人数は、具体的に人数を要望しているのでしょうか。

■学校教育課長

具体的な人数は示しておりません。また施設に関しても県の回答がかなり厳しい状況であることも踏まえまして、建てられればそれにこしたことはありませんが、現在ある国際交流教育センター等の施設を利用するということも含めて検討しているところです。

■富田教育長

ちなみに三沢市全体では、最重点要望事項が4件、重点要望が16件、その内の1つが教育委員会の当要望事項です。

その他ございませんでしょうか。

それでは、無いようですので、報告第2号令和2年度三沢市重点事業要望については終わりといたします。

○日程第7 その他

■富田教育長

その他に移ります。

各課で委員にお知らせする事項等はございますでしょうか。

■教育総務課長

教育総務課からは例年実施している学校訪問の日程についてご報告いたします。

お手元に配付した日程表のとおり6月5日から7月17日までの日程で、市内12校を訪問し、授業参観と校内施設の視察、そして校長先生、教頭先生との懇談を行いますのでよろしくお願いたします。

教育総務課は以上でございます。

■富田教育長

学校訪問の日程等について、委員の皆さんから何かございますか。

その他各課からございませんか。

■学務課長

学務課からは、2点ございます。

まず、令和元年度三沢市立小・中学校児童生徒数についてです。

お手元に配付の資料をご覧ください。

前回の定例会で、口頭でお伝えしましたが、改めまして、5月1日の児童生徒数についてお伝えします。

小学校については、2,096名、そして中学校については、1,056名、合わせて3,152名となっております。昨年度と比較しますと、小学校が24名の減、中学校が65名の減、合計で89名の減となっております。

2点目は、三沢市内小中学校保護者アンケートにみる満足度について、経年変化表の資料をご覧ください。

市内の各小中学校が毎年度末に実施している保護者アンケートを活用し、各学校又は市全体の教育活動に関する満足度、達成度・取組み状況などの評価度を把握し、当該年度の三沢市の教育に対する保護者及び地域住民の評価の参考資料とするということで、今回集計作業を行いました。集計方法は、表現の違いがあるものの、十分満足、概ね満足、やや不十分、不十分の4段階の評価項目で実施、その中の十分満足または概ね満足の数値を「満足」とし、集計したものになっております。学校により、アンケートの項目数や人数集計、%集計等方法に違いがありますが、満足度人数を集計し、総保護者数に対する割合を算出し、この数値を出しております。全児童生徒数を基に、保護者総数とみなし集計作業を行いました。

数値に関しては、小中学校全体の昨年度の満足度は、83.1%、これは、総保護者数の3,263人中の満足度総人数が2,710.5人ということで、この結果全般的には、評価として、保護者の方々からは、市内小中学校に対する教育活動のご理解をある程度得られていると捉えております。

項目別にみますと、評価が高いものは、交通安全、緊急時の連絡体制等、安心・安全な指導や体制づくり及び学校での子供の様子、取組みについての、文書・連絡・説明等で、評価が低いものは、家庭での学習・読書週間づくりや将来の夢に向かっての生活・取組です。

また、読書週間づくりについては、小中学校ともに低く出ています。

これらの結果を踏まえまして、毎年度継続、集計し、現在における各学校の取組み状況を確認し、推移や傾向を踏まえて、三沢市のまたは各学校の教育活動の改善に活かし取り組んで行きたいと思えます。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

学務課長からは、2つの報告がありました。児童生徒数のことと、保護者アンケートのことです。保護者アンケートは、年度末に行われており、各学校で名称の違いはありますが、そのアンケートの集計結果を報告しました。

他に何か、確認等ありますか。

■相沢委員

保護者アンケートですが、アンケートの回収率は、ほぼ100%でよろしいでしょうか。

■学務課長

具体的な数値は、捉えていませんが、各学校では十分参考にしているの、ほぼ回収できていると把握しております。

■相沢委員

もう、1点ですが、それぞれの学校で独自の項目でアンケートが実施されているということですが、今回このアンケート集計をして、市全体としてどの様な傾向にあるかをみるということですので、項目を統一した方が良かった

ということではなかったでしょうか。

■学務課長

今回は、各学校で行っている保護者アンケートを様々な取組の中で、活用できないかということで行いましたが、経年変化をみていくものですので、今までのアンケート項目を変えるというのは、難しいと思えます。ただ、項目の整理や表現方法などは、改善をしていく余地があるかもしれませんので、ご意見を踏まえて検討できるところは、検討していきたいと思えます。

■富田教育長

若干補足しますと、先に学校では規則を基に、保護者や地域の方から、教育活動について評価を受けて、11年か12年になります。実施のときは、県教委からもマニュアル的なものがきますが、それを各学校で参考にし、負担にならないような実施方法で、多い学校で30項目位、少ないところで、10項目位で、それぞれの学校が知りたいことや聞きたいことなどポイントを絞ってやっています。それを教育委員会が活用できないかということで、はじめたため、学校に項目を揃えとか、加えとかを求めするのは、時代の流れではいい方法ではないので、大まかな流れで、共通理解をしていくということで、校長会にも話しています。市連Pにも数字を報告させてもらっています。

その他各課からございませぬか。

■学校教育課長

みさわわくわくサマーゼミナールについて説明させていただきます。

資料の1枚目は児童及び保護者に配付したチラシです。

2枚目の実施計画をご覧ください。

まず、「1 事業の趣旨」についてですが、夏休みになると、子供たちは自由研究や、自分たちの興味あることについて、様々な調べ

学習を行うわけですが、家庭の状況によっては、保護者が子供に対して、なかなかアドバイスしてあげられないという家庭もあるということで、三沢市教育委員会や航空科学館、図書館などの機関が協力してゼミナールを開催し、サポートするという事業でございます。日程は、裏にある表のとおりとなっております、1回目のゼミナールは6月22日で、今年度、新たに行うことになった事業です。

また、併せてお手元には、三沢市小学校陸上競技大会の案内文書を配付させていただきました。三沢市内全小学校が参加する大会ですので、可能な限りご出席いただき、応援等をしていただきたいと思います。

開催日時は6月19日（水）9時10分から開始、競技終了予定は、14時頃を予定しています。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

学校教育課からは、みさわわくわくサマーゼミナールと市の陸上競技大会開催のお知らせでした。

今の報告で、確認等ございますか。

みさわわくわくサマーゼミナールは、一部の学校でやっているところもありますが、規模を拡大し、市全体で進めて行く事業です。

その他各課でございませんでしょうか。

無いようですので、その他については、終わります。

○日程第8 閉会

■富田教育長

最後に、各委員の方から何かありますでしょうか。

■立花委員

先週は、中学校が運動会、今週末は、小学校の運動会があるようですが、天気予報をみますと、今日から気温が上がるようですので、熱中症には十分注意・配慮するよう連絡していただきたいと思います。当然学校の方でも十分気を付けて水分補給などしていると思いますが、急に気温が上昇すると、体調を崩す子供もあると思いますので注意をよろしくお願いします。

■相沢委員

みさわわくわくサマーゼミナールについては、また、新しい企画があり良いと思っています。保護者アンケートについては、将来に向かっての目標・希望の意識がちょっと物足りないアンケート結果だったと思いました。

それぞれ、家庭の環境や状況が違うと思えますし、子供たちが色々なものに出会えるチャンスがあるということが、将来の自分のやりたいことを見つけるのに良いきっかけになると思いますので、このような新しい企画は、嬉しく思いました。これからも現状に満足することなく、更に良いものを考えていただきたいと思います。

■黒沢委員

新年度がはじまり、まもなく2カ月が経とうとしています。幼稚園・保育園から卒園する時に、入学する小学校へ要録を提出しています。平成30年度に幼稚園教育要領や保育所保育指針、認定こども園の教育保育要領が改定となり、その様式が3施設ほぼ同じような様式になりました。そして学校の教育指導要領の改訂にも伴って、幼稚園・保育所から大学まで3本の柱で繋がるようになり、そこに向かって伸びている姿を現すような様式になりました。

それを受けて、小学校側での効果として、子供の姿をより感じやすかったかというところはいかがだったでしょうか。

■教育総務課長

具体的には、今までその感想を聞く機会がありませんでしたが、今学校に計画訪問をしますので、その時に話題にして、有効に活用するよう呼びかけていきたいと思えます。

■富田教育長

併せて私共の学校訪問の時にもお願いします。

形が整い、それが浸透して、その成果といったところまでは、多少時間がかかるかと思いますが、非常に整理され、シンプルになり、メリハリがついたようになったと伺っています。できるだけ効果的に活用していきたいと思えます。

■本江委員

私も土曜日、日曜日に市内の2つの中学校の運動会を拝見させていただきました。子供たちが全速でゴールに向かってテープを切るという、なかなか感動するものがありました。どうしても順位が決まっているので、だらだらとなりがちですが、最期まで走るという姿勢は、普段からの先生方の指導であると思えました。

生徒の人数が減っているので、出番が多く、そのために色々なことが心配されます。

他町の運動会もちょっと拝見しましたが、救急車を要請するということがあり、その時に感心したのが、一番先に倒れた子供の傍に走ったのが校長先生で、校長先生の判断で救急車を要請したということです。たまたま隣には教育長が座っていましたが、その校長先生の素早い判断で、素晴らしい対応ができたと思えました。

市内中学校の運動会は、子ども達の頑張りど、先生方の動きが素晴らしいと思えました。

■富田教育長

その他、ございますでしょうか。無いようですので、暫時休憩といたしまして、

人事案件の為、別室、教育長室へ移動をお願いいたします。

6月定例会の日程についてですが、6月24日 月曜日 午前10時に開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、6月定例会は、6月24日 月曜日 午前10時といたします。

暫時休憩 10:36

再開 10:40

教育長室において、議案第1号 県費負担教職員の交通事故・違反について審議し、原案のとおり承認された。

閉会 10時45分

■会議録署名者

教育委員 黒 沢 のぞみ

教育委員 本 江 宏

書記 今 村 多美代